

学校における働き方改革の推進 「とくしまの学校における働き方改革プラン」の取組 (第2期)

主幹教諭研修



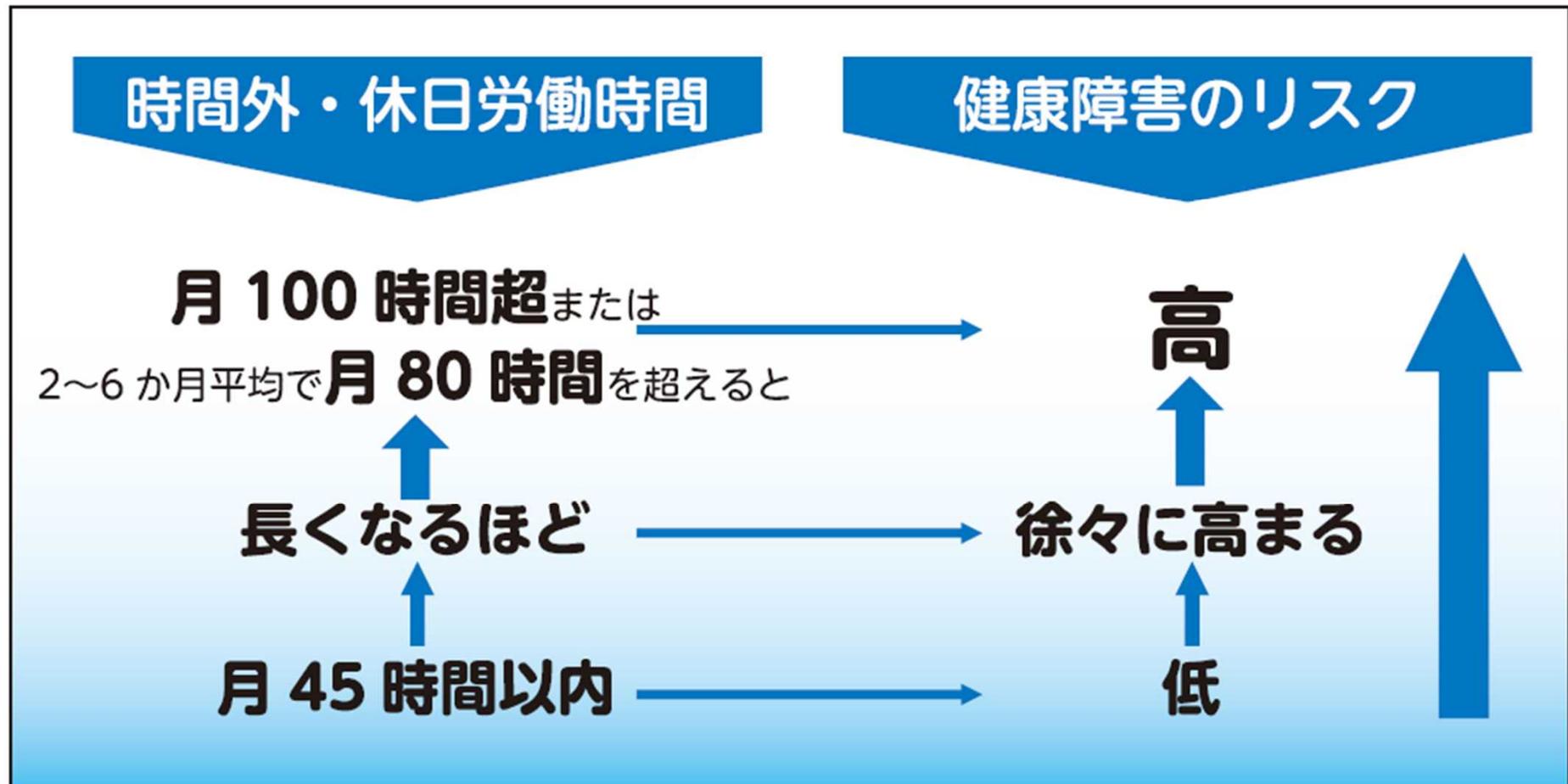
令和3年6月29日(火)
徳島県教育委員会教育政策課
(働き方・発信戦略担当)

危惧される長時間勤務の影響

- ◆ **教員の健康への影響**
教師の過労死や病休が増えている。
- ◆ **教育への影響（生徒への影響）**
心身が疲弊するとよい教育活動（授業）ができない。
- ◆ **人材への影響**
「ブラック」な職場のままでは優秀な人材は来ない。

時間外勤務のリスク

■時間外・休日労働時間と健康障害リスクの関係



出典：過労死等防止啓発パンフレット 2018 (厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11202000-Roudoukijunkyoku-Kantokuka/0000138040_1.pdf

長時間労働のリスク

起床後15 時間以上では酒気帯び運転と同じ

睡眠不足は、疲労や心身の健康リスクを上げるだけでなく、作業能率を低下させ、生産性の低下、事故やヒューマンエラーの危険性を高める可能性がある。健康成人を対象にした研究では、人間が**十分に覚醒して作業を行う**ことが可能なのは**起床後12～13 時間が限界**であり、**起床後15 時間以上では酒気帯び運転と同じ**程度の**作業能率まで低下**することが示されている。

出典：健康づくりのために睡眠指針2014（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000047221.pdf>

学校における働き方改革 国の動向

新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）

H31.1.25（中教審）

「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」

働き方改革の目的

働き方を見直し、自らの人間性や創造性を高め、
子供たちに効果的な教育活動を行う

学校及び教師が担う業務の明確化・適正化

学校があらゆる業務を担いすぎていることを踏まえ、
以下の視点から業務内容を整理

- ①学校以外
- ②必ずしも担う必要なし
- ③負担軽減可能

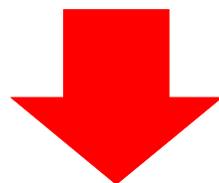
勤務時間管理の徹底と上限ガイドライン

月 **45** 時間、年 **360** 時間

学校における働き方改革 国の動向

給特法の一部を改正する法律が可決・成立

令和元年12月4日



1. 一年単位の変形労働時間制の適用
(休日のまとめ取り等)

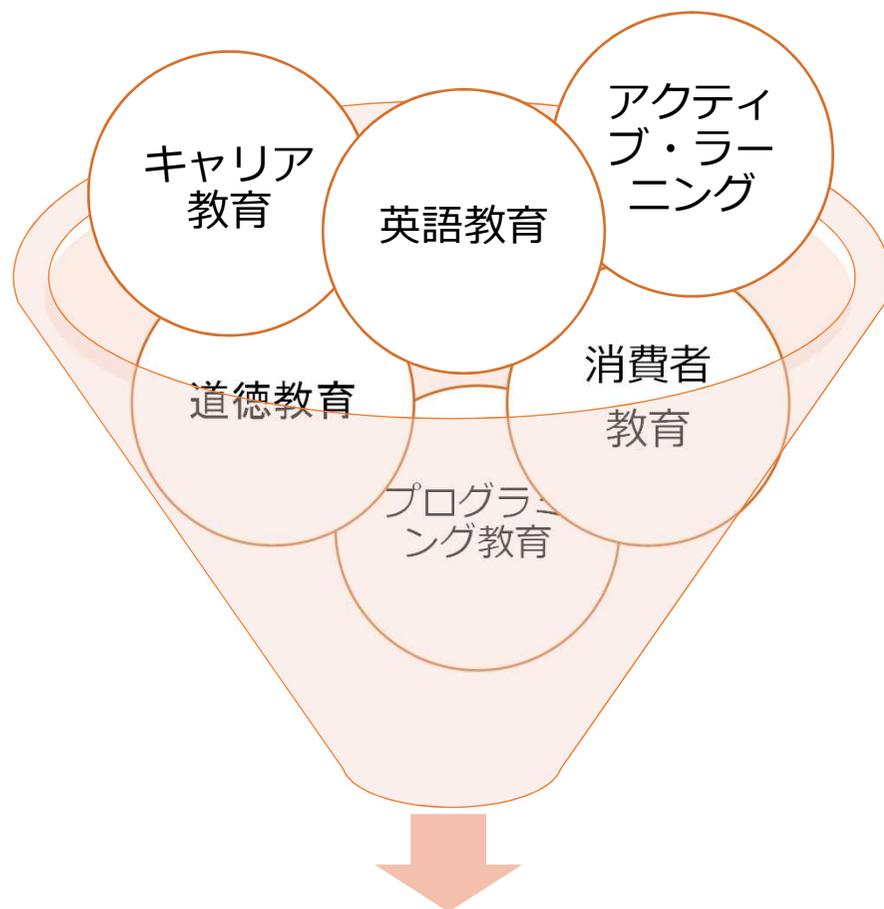
施行：令和3年4月1日

2. 業務量の適切な管理等に関する指針
(ガイドラインを法的根拠のある「指針」に格上げ)

月45時間、年360時間

施行：令和2年4月1日

質の高い教育の実現のために



未来を主体的に生きぬく力

教材研究・授業研究

授業力ははじめ、
授業の質が求められる



やるべきことは多い

教科指導	生徒指導
クラス経営	校務分掌
部活動指導	保護者対応

学校における働き方改革

これからの働き方

ポイントは働く意識！

「できるまでやる」からアップデート

- 無制限・無定量に働くことは評価されない
- 勤務時間を意識した計画的な業務

時間を大切に

効率よく、教育効果の高い方法で

- 個人商店ではなく、協働で効率的な業務
- 子供にとって本当に必要なことなのか、常に検証

客観的な
こだわり

教師がいきいきしていること

- 教師がいきいきしていないと、子供もいきいきしない
- 適度な休暇で自己を見つめ直す時間をもつことは、子供にとってもプラスになる

心身ともに健康

働き方改革は削るだけではない

教師のスキルアップのための**時間の創出**

授業力をはじめとした指導力の向上のための
研修等に充てる時間

教師の人生を豊かにするための**時間の創出**

心身のリフレッシュや感性を豊かにするような
機会に充てる時間

持続可能な学校づくり

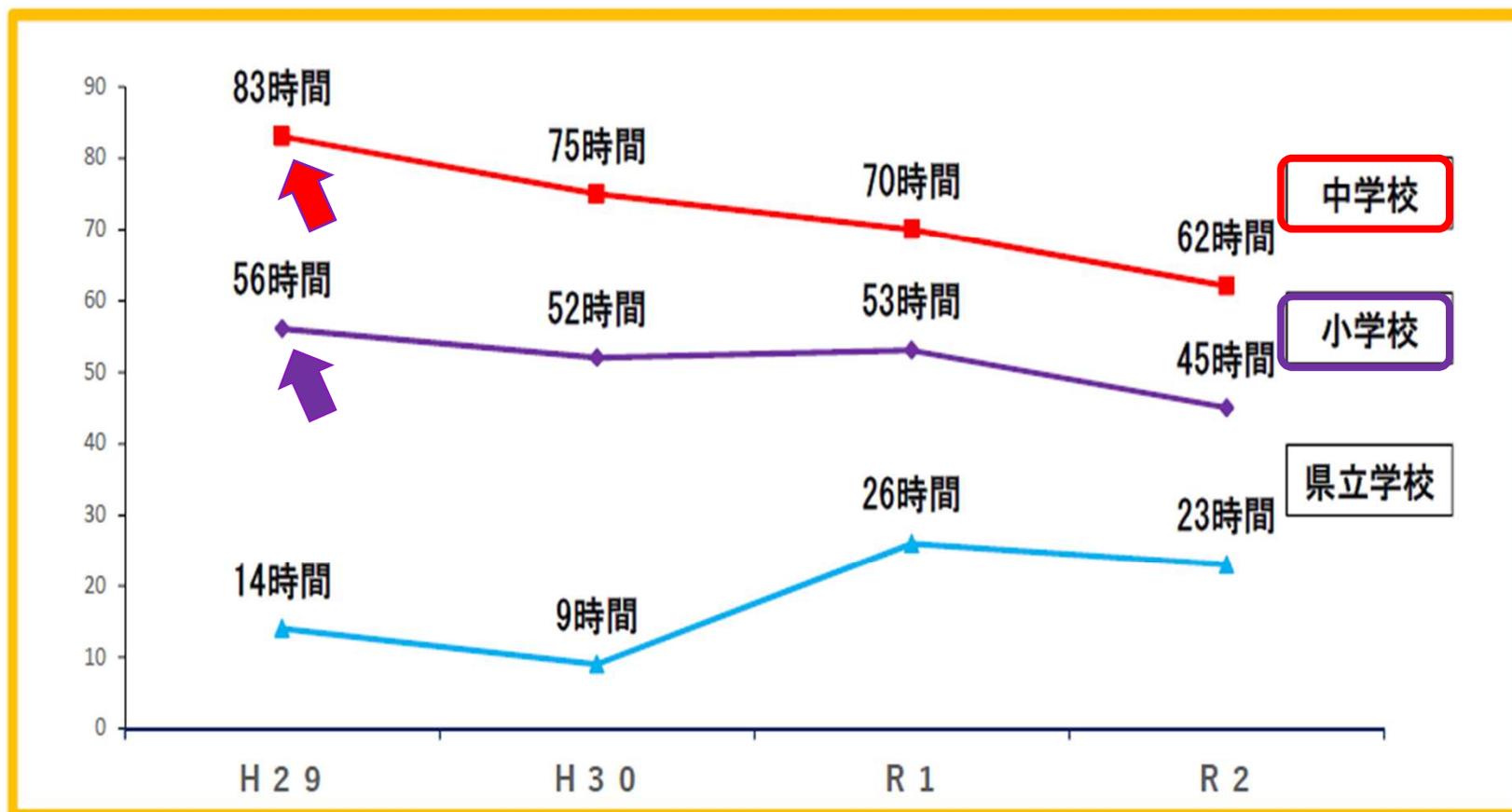
業務の役割分担・適正化

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤調査・統計等への回答等 (事務職員等)</p> <p>⑥児童生徒の休み時間における対応 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑦校内清掃 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑧部活動(部活動指導員等)</p> <p>部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑨給食時の対応 (学級担任と栄養教諭等との連携等)</p> <p>⑩授業準備 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑪学習評価や成績処理 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑫学校行事の準備・運営 (事務職員等との連携、一部外部委託等)</p> <p>⑬進路指導 (事務職員や外部人材との連携・協力等)</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応 (専門スタッフとの連携・協力等)</p>

出典：学校における働き方改革に関する緊急対策【概要】（平成29年12月26日文部科学省）

「とくしまの学校における働き方改革プラン（第1期）」の成果と課題

1か月当たりの平均時間外在校等時間の推移



(徳島県調査より)

「とくしまの学校における働き方改革プラン（第1期）」の成果と課題

① 1か月間の総時間外在校等時間が45時間を超える教員の割合の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校	59.1%	57.8%	46.0%
中学校	78.4%	75.5%	63.6%
県立学校	8.1%	20.1%	16.9%

(徳島県調査より)

② 1か月間の総時間外在校等時間が80時間を超える教員の割合の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校	11.9%	15.9%	6.0%
中学校	41.4%	37.1%	28.5%
県立学校	2.9%	6.2%	4.2%

(徳島県調査より)

「とくしまの学校における働き方改革プラン（第2期）」の推進

1 目的

児童生徒と向き合う時間を確保、限られた時間の中での効果的な教育活動等

業務の適正化と質的転換による教育力の向上と持続可能な学校づくり

2 目標及び計画期間

「数値目標設定の考え方」を継続することによる取り組み易さ

(1) 目標

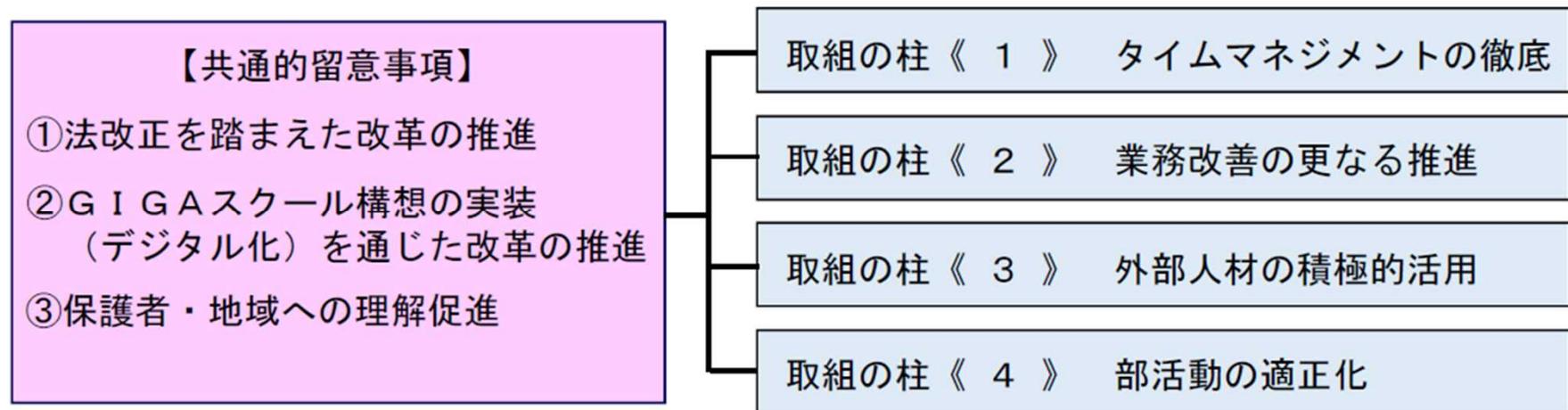
令和5年度までに、1か月当たりの時間外在校等時間（平均）を令和2年度比「**25%以上**」削減（各校種において）

(2) 計画期間

令和3年度から令和5年度までの3年間

第2期プランの体系

全ての取組を強力に推進するため、常に念頭に置くべき3つの共通の留意事項を掲げ、その下に4つの取組の柱を設定します。



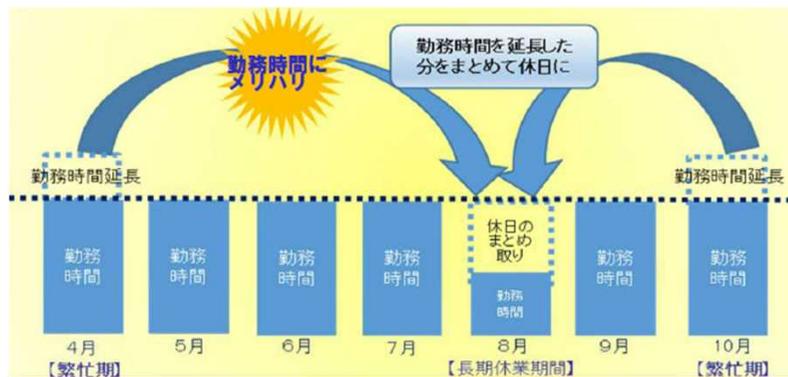
取組の柱《1》 タイムマネジメントの徹底

出退勤管理システムの活用による徹底したタイムマネジメントの推進

県立学校に続き、令和3年度から全ての公立小中学校に導入する出退勤管理システムにより、働き方を**見える化**し、より適切なタイムマネジメントにつなげる。



「出退勤システム」の操作画面



「変形労働時間制」イメージ

長期休業期間等における休日のまとめ取りのための1年単位の変形労働時間制の周知

夏季休業期間の研修等の大幅削減とともに、**休日のまとめ取り**のための1年単位の変形労働時間制の周知と、市町村教育委員会、学校からの求めに応じ、助言を行う。

取組の柱《2》 業務改善の更なる推進

徳島県GIGAスクール構想の実装による 授業形態や手法の進化及び事務処理の効率化

デジタル教科書・教材を戦略的に整備し、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現するための**効果的な活用**とともに、教員の**教材準備等の負担軽減**につながる活用を促す。



児童生徒1人1台端末で利用する共通アプリケーションの導入

児童生徒1人1台端末で利用する共通アプリケーションを導入し、授業や家庭学習の準備の負担軽減につなげるとともに、保護者との双方向の情報伝達により、**事務処理の効率化**を図る。



取組の柱《3》 外部人材の積極的活用

スクール・サポート・スタッフ、学習サポーター等の配置促進

教材研究や児童生徒への指導等に注力できる体制整備を図るため、教材作成の補助や事務作業、ICTに関する業務の支援等を行うスクール・サポート・スタッフの配置拡大に向け、積極的な活用を促していく。

※市町村と連携を図り、さらなる配置拡充を目指す。



学習サポーター



スクールサポートスタッフ



部活動指導員の指導風景

部活動指導員の配置促進

部活動指導員の配置を促進し、**教員の教材研究等に係る時間の確保**や、専門外教員の心理的負担の軽減を図るとともに、市町村教育委員会での円滑な人材確保に資するため、競技別の人材リストを作成する。

※部活動指導員の資質能力の向上を図るための研修会を実施

取組の柱《3》 外部人材の積極的活用

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーによる教育相談体制の充実

不登校やいじめなど複雑化・多様化する生徒指導上の諸課題について、**教員が抱え込まず、専門家と連携協働する体制を整備**するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充する。



スクールロイヤーの配置



学校運営協議会

コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) の導入促進

学校を核として、**地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていく取組が推進**されるよう、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の導入を促進する。

取組の柱《4》 部活動の適正化

部活動に関する方針の明確化

「部活動の在り方に関する方針」を踏まえた適切な活動時間や休養日等の設定、部活動指導員の効果的な活用等

- 「運動部活動の在り方に関する方針」……平成30年4月通知
- 「文化部活動の在り方に関する方針」……平成31年4月通知

[方針の内容]

- 1 方針策定の趣旨等
- 2 適切な運営のための体制整備
- 3 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組
- 4 適切な休養日等の設定
- 5 生徒のニーズを踏まえた環境の整備
- 6 学校単位で参加する大会等の見直し

◆とくしまの学校における働き方改革ホームページ
「働き方改革に関する方針等」

https://hatarakikata.tokushima-ec.ed.jp/?page_id=160



退勤時間の設定(小松島高校の取組)

- 勤務時間を意識した働き方 → カエル宣言カードの実施



退勤時間の設定 (働き方改革モデル校: 藍住北小学校)

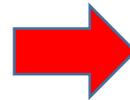
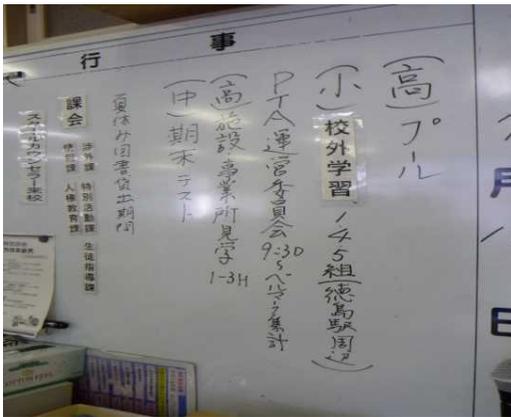
- 氏名のついたマグネットを「カエルボード」に貼り付ける。



ICTの効果的活用（働き方改革モデル校：板野支援学校）

- ・ 第1職員室の行事板を廃止
- ・ 職員会議の短縮

グループウェアの利用



記事件名	記事管理所属	最終更新日時
2018-07-20		
夏期休業中進路研修会について(進路指導課)	E30030板野支援学校	2018-07-20 08:00
☆インシデント・アクシデント報告(小学部)	E30030板野支援学校	2018-07-20 07:51
☆本校電気設備点検に伴うサーバーの停止について(再掲示)(情報課)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
☆夏季休業を迎えるにあたって(校長)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
講師等校長面談について(校長)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
置き傘の撤収について(総務課)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
行事予定の追加について(教務課)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
9月の行事予定について(教務課)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
☆1学期終業式について(教務課:岩崎)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
☆臨床動作法訓練キャンプ実施について(高等部石橋)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
☆個別の指導計画に関する話し合いについて(教頭:多田)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
プールの片づけ、ご協力お願いします。7/25(水)11:30~、8/1(水)11:45~。(保健課)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
☆板野支援学校だよりについて(総務課:大内)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
☆板野支援学校だよりについて(総務課:大内)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00
9月の給食数の変更締切:8月20日(月)(保健課)	E30030板野支援学校	2018-07-20 00:00

ICTの効果的活用（板野支援学校の取組）

学校全体の取り組み

- 企画運営委員会のペーパーレス化

→ ネットワークを利用し、PCで会議



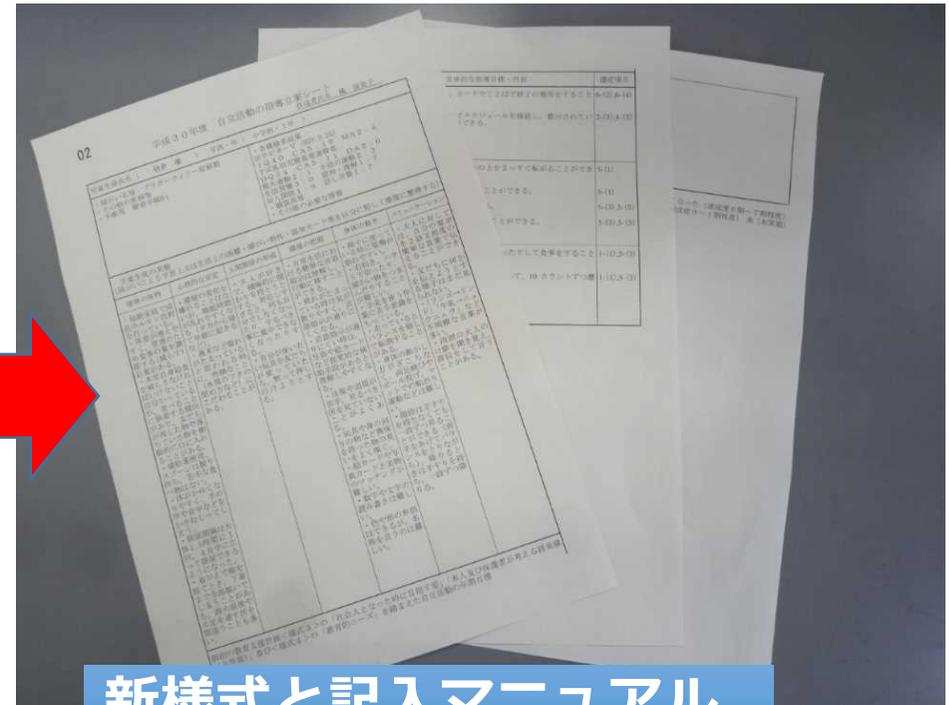
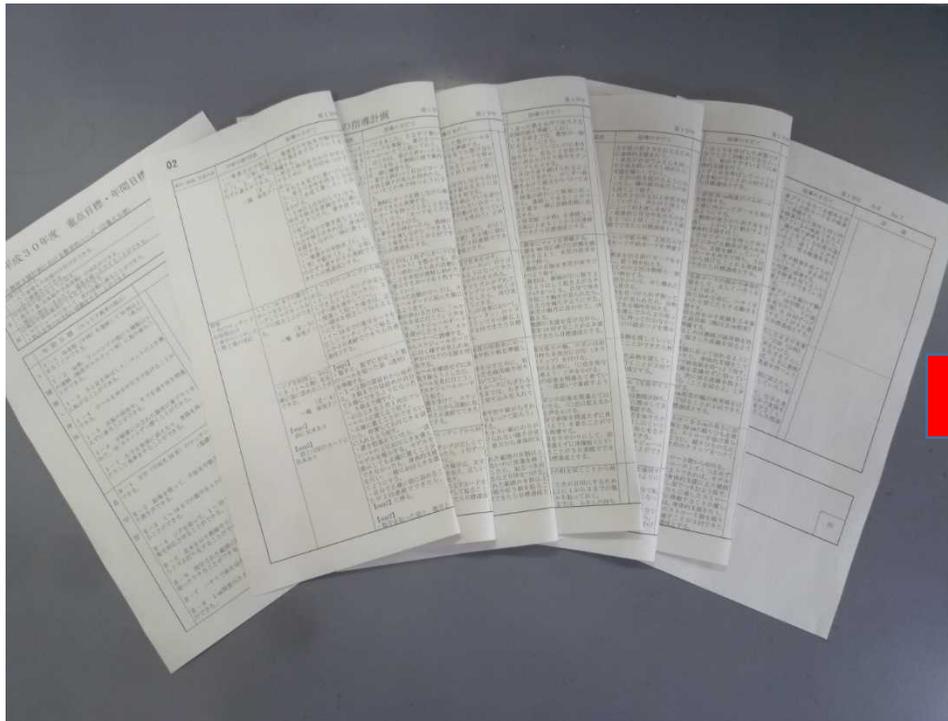
イメージ図



業務改善目標設定（板野支援学校の取組）

個別の指導計画の様式の見直し → 検討委員会を組織

1名分の指導計画
現在.....新様式

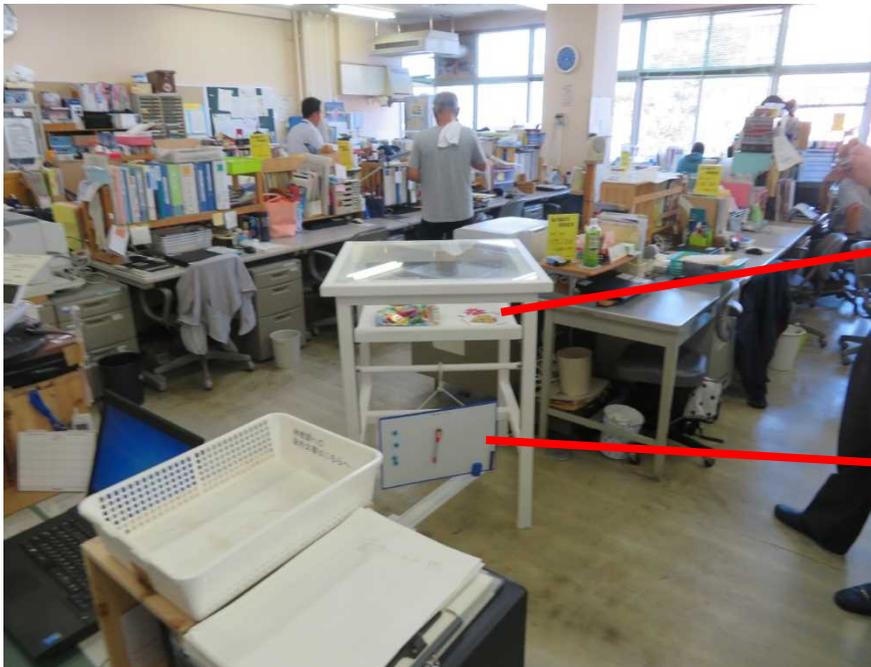


新様式と記入マニュアル
がほぼ完成！

会議の精選や会議時間の短縮（板野支援学校）

職場環境の整備①

- 第1職員室内スタンディングテーブルの設置



生徒作品やお菓子



会議に活用できるボード

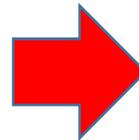
会議の精選や会議時間の短縮（板野支援学校）

職場環境の整備②

- ・第2職員室内の相談室の整理



以前は、物置化



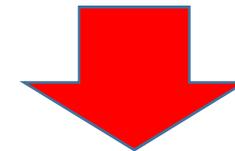
コミュニケーションルームに

業務改善目標設定（板野支援学校）

働き方改革宣言

- 定時退校を率先推進
- 宣言ボードに退校時間を記入し、席に掲示（週1回以上）
- 退校時間を意識した働き方の実践
- 県の推奨する毎週水曜日の職場ノー残業デーの奨励
- 月に最低1回は定時退校
- 宣言ボードを推進員以外の希望者にも配布（11月以降）

（つきあい残業や追加残業の防止）



座席周辺の職員への啓発



業務改善目標設定（板野支援学校の取組）

合い言葉は

(M)

みんなで

(働き方をみなおして)

- 授業の空いている時間
- 放課後
- 会議の持ち方、時間
- 自分自身の働き方

(T)

定時に

(時間を作ったら)

- 時間をつくる
(1日の勤務時間を有効に)
- 趣味をつくる
(残業をやめてその時間を趣味に使う)
- 休息をつくる
(休日出勤をしない、有給休暇の活用)
- 記念日をつくる
(家族の記念日、自分へのご褒美の日) etc

(K)

かえりましょう

(行動に移して)

- 見直してつくった限られた時間を有効に活用する
- ライフステージに合わせて働く時間と余暇の活用
- 「定時に帰る」という目標と行動
- 明日できることは明日やる等ワークスタイル

(48)

4週8休

(休日出勤しません)

※月4週8休で休日出勤を避けて、休日を活用しリフレッシュしてくださいとの意味

外部人材の受入れに係る窓口の一元化と広報の充実 (東みよし町・勝浦町)



地域とともにある学校

コミュニティ・スクール 地域学校協働活動

学校行事や授業等に地域の人材を積極的に活用し、教育効果を高める。地域の活性化にもつなげていく。



東みよし町・勝浦町の事例

スクール・サポート・スタッフ(藍住北小学校)

- 配置人数1名
- 週3日勤務(週16時間)
- 8:30~14:30…1回
- 8:30~13:30…2回

《主な業務内容》

- ◎印刷や物品整理
- ◎教材作成・資料整理
- ◎学校行事・式典等補助
- ◎データ入力・名簿作成
- ◎配布文書の仕分け
- ◎掲示物の掲示、張替



部活動指導員（北島中学校）

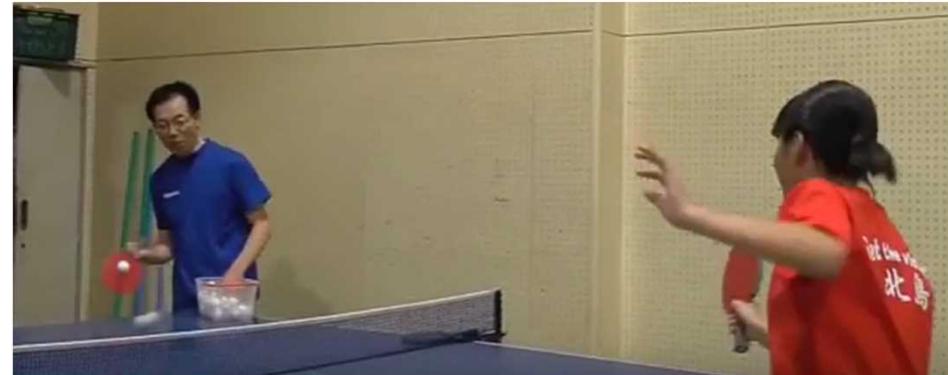
●配置人数 1名

女子卓球部 (2019年)
(3年11名, 2年13名, 1年12名)

週4日勤務 (週11時間程度)
平日4日×2時間程度
週休日1日×3時間程度



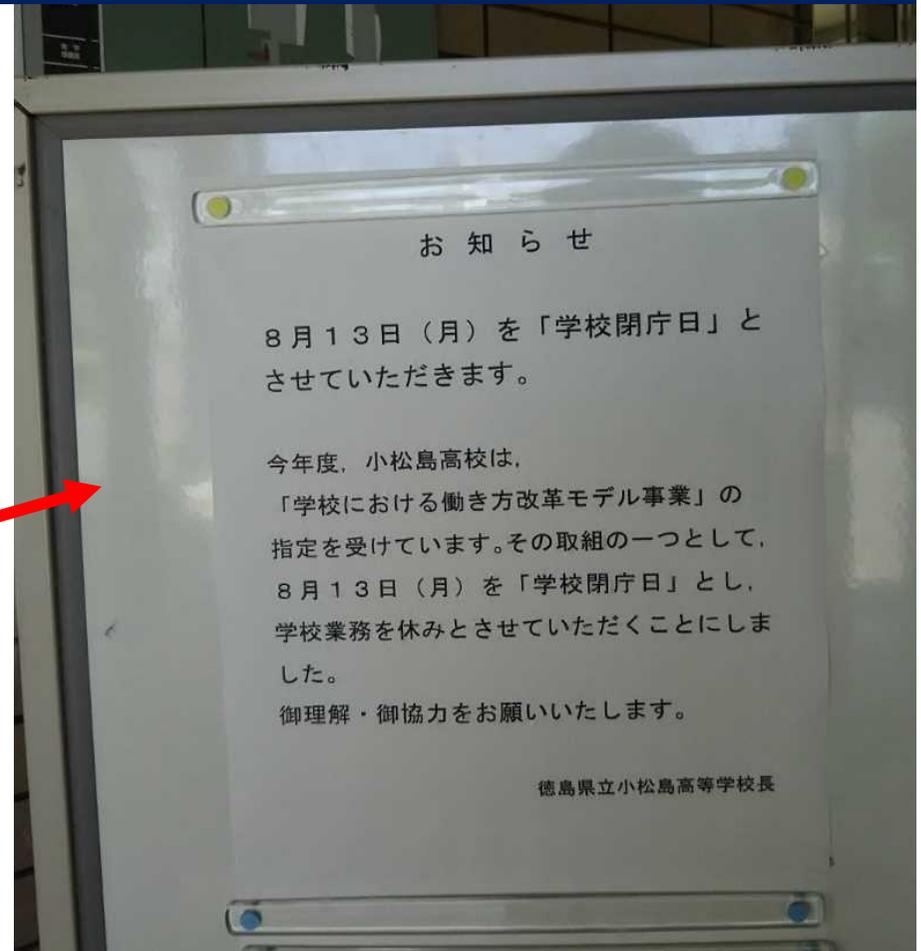
- ◎担当教師との連携を密にし、週休日は交互に休むなど、指導の工夫を行っている。
- ◎月間練習計画を相談のうえ決定し、学校ホームページにも掲載している。



保護者・地域の理解促進（小松島高校）

学校閉庁日の設定

【正面玄関前に看板設置】



職員の休暇取得促進と健康増進

※学校ホームページや学校だよりでの保護者への協力依頼

保護者・地域の理解促進（小松島高校・板野支援学校）

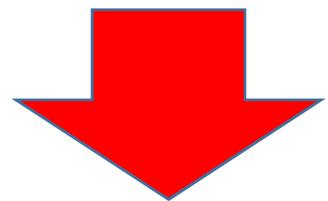
留守番電話の導入

メッセージのセット

小松島高校：19:00頃

板野支援学校：18:30頃

※生徒の実習中の帰宅連絡の
最終時間以降は留守番に



電話応対など時間外勤務を削減

学校における働き方改革

まずは、個人も含めて、学校をあげて
取り組んでいただきたいのが、

棚卸し

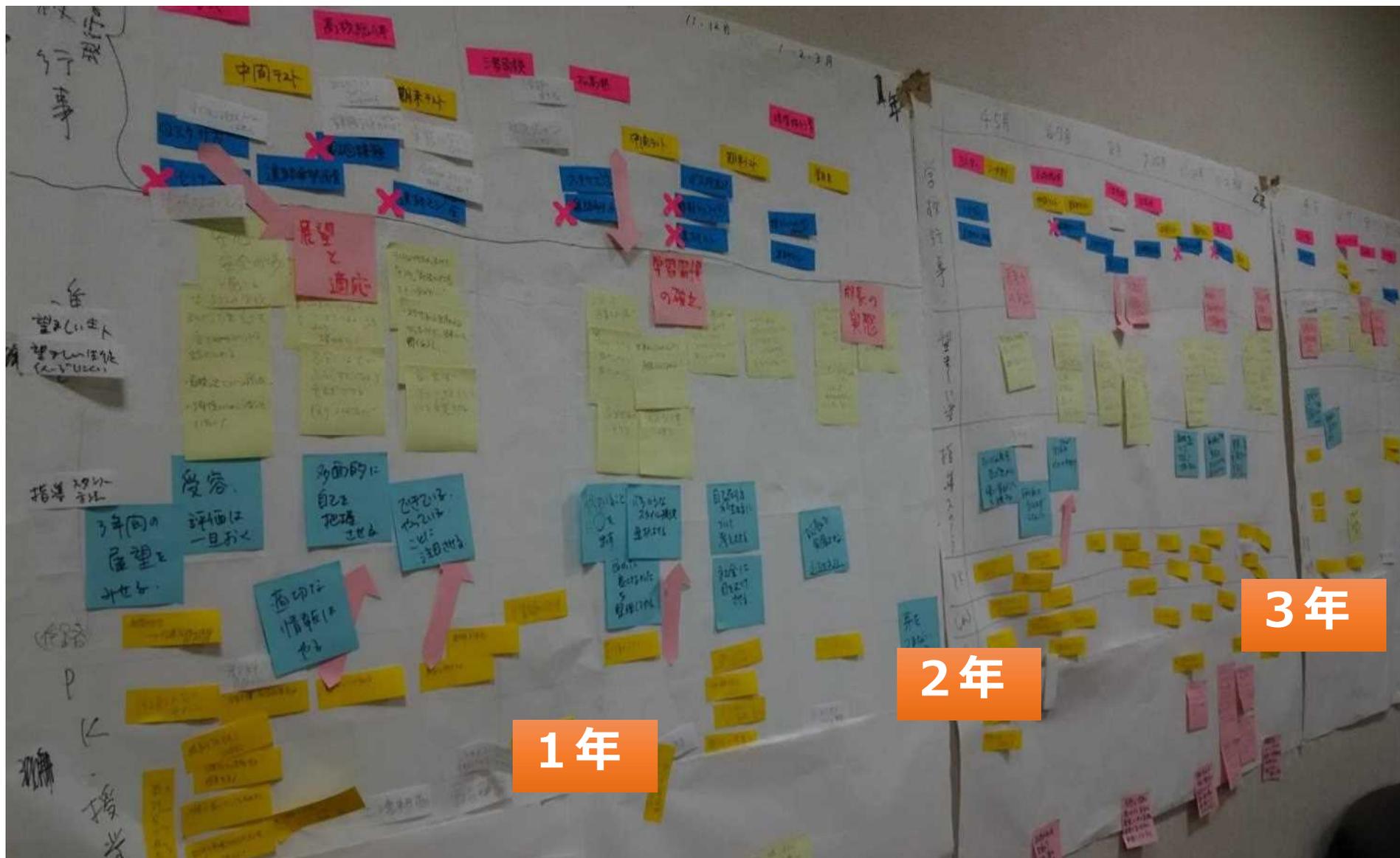
業務の削減、統合、やり方の見直し等

視点は、「子どものためになっているか」

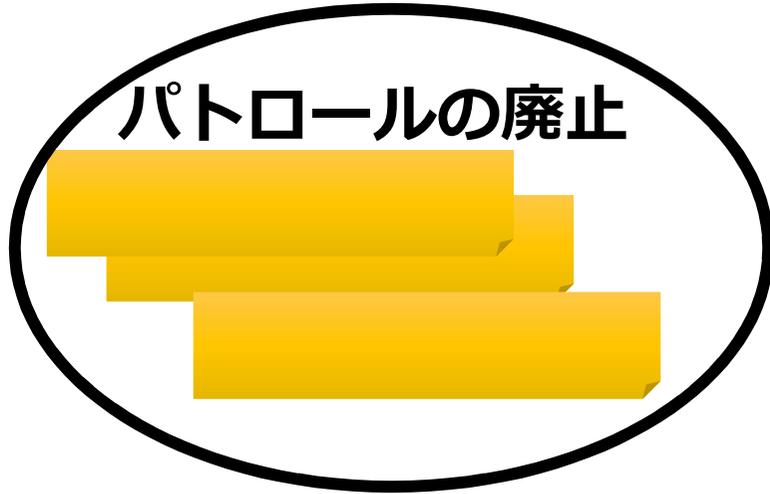
※負担の割に教育効果の低いものがその対象です。

業務改善への取組（小松島高校）

取組の精選・委員会の削減 → 年間で学年ごと分掌業務の洗い出し



実行(易)



まずは、ここから
検 討

効果(小)

効果(大)



実行(難)

保護者・地域への理解促進

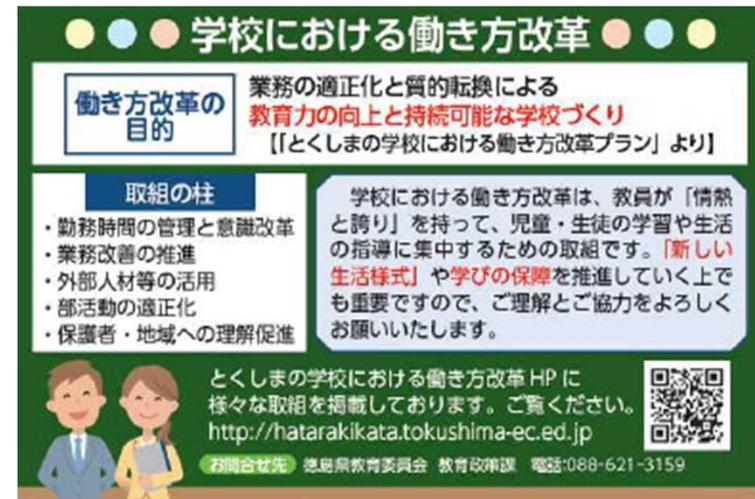
優れた取組事例の周知・広報による意識改革促進

事務局、公立学校を対象に「とくしまの学校における働き方改革ホームページ」や「教育通信ふれあいひろば」等の広報紙で、**優れた取組事例について積極的に周知・広報**を行い、学校現場における業務改善を支援する。

とくしまの学校における働き方改革ホームページ



広報紙「教育通信ふれあいひろば」



QRコードはこちら

持続可能な学校づくり

「とくしまの学校における働き方改革プラン（第2期）」の取組

